

施工説明書

TOTO

2ハンドルバス水栓

TBXS20型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



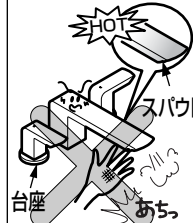
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




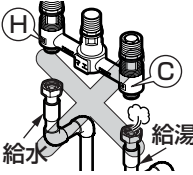

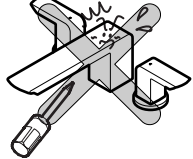
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。




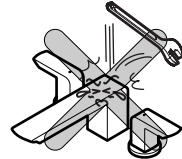

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 接触禁止	<p>高温の湯を使うときは、スパウトおよび湯側の台座に直接、触れない</p> <p>スパウトおよび湯側の台座は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。</p>
	

 警告	
 禁止	<p>湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>
 分解禁止	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	  

 注意	
 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部に保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「8 寒冷地での水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	 

2 仕様

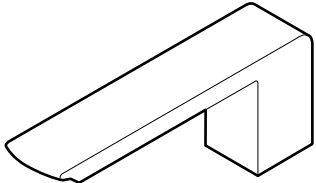


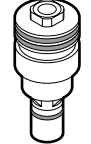


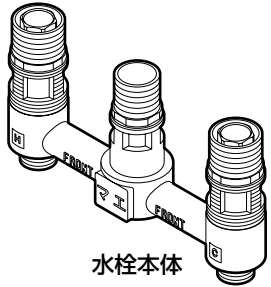
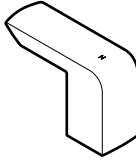

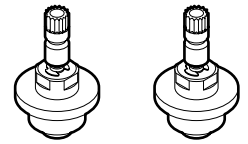
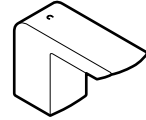
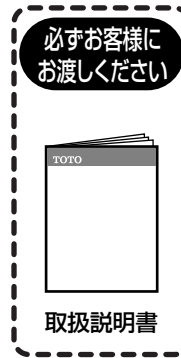

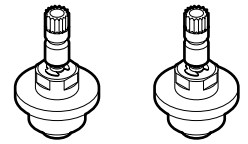
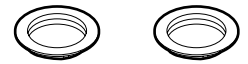

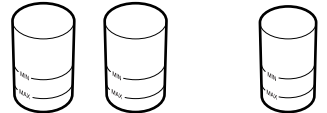
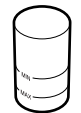
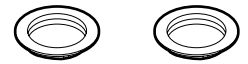
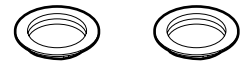
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		パブリックおよび一般住宅浴室用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

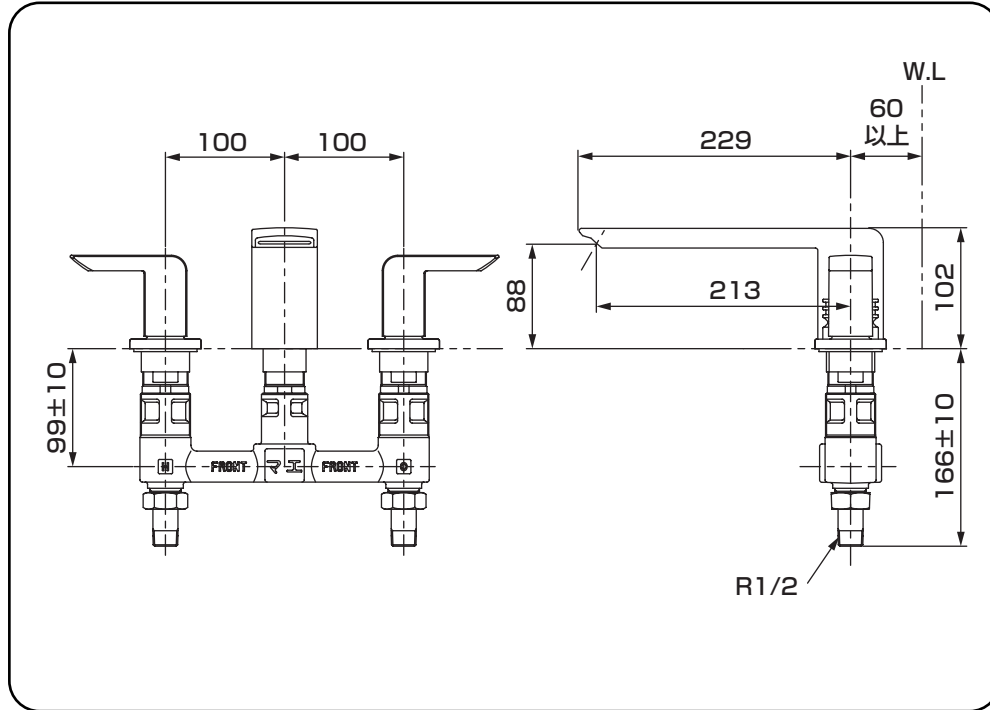
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部		その他
	 パッキン (小)	 止めねじ (3個)
	 パッキン (大) (2個)	 六角棒レンチ
	 湯側ハンドル	 施工説明書
	 水側ハンドル	 必ずお客様にお渡しください 取扱説明書
	 スピンドル部 (2個)	
	 ユニオン (2個)	
 養生カバー (大) (2個)	 養生カバー (小)	
	 締付ナット (2個)	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

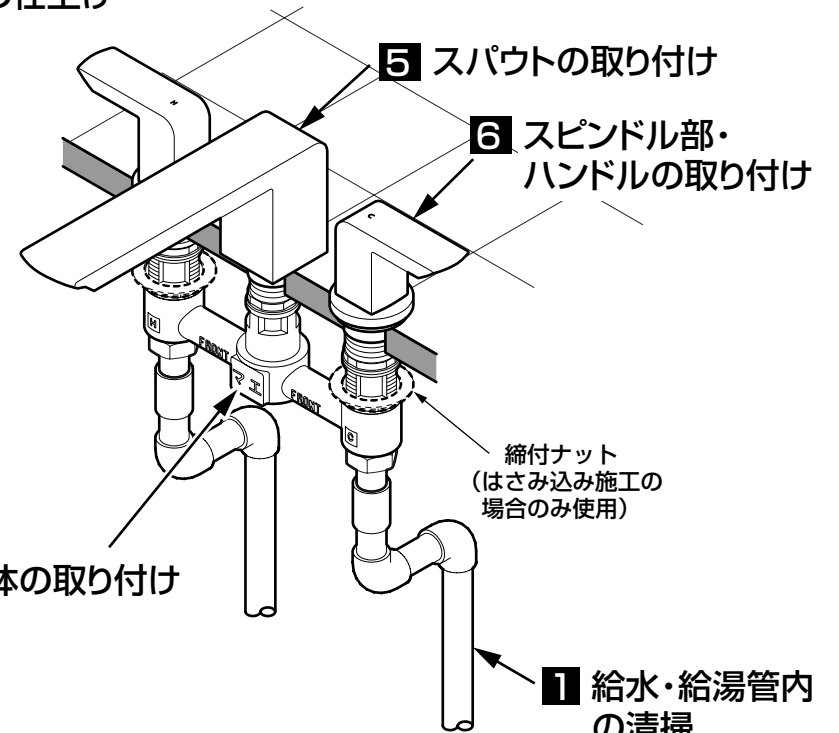
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順

4 タイルの仕上げ



3 水栓本体の取り付け

- 1 給水・給湯管内の清掃
- 2 給水・給湯管の心出し

1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

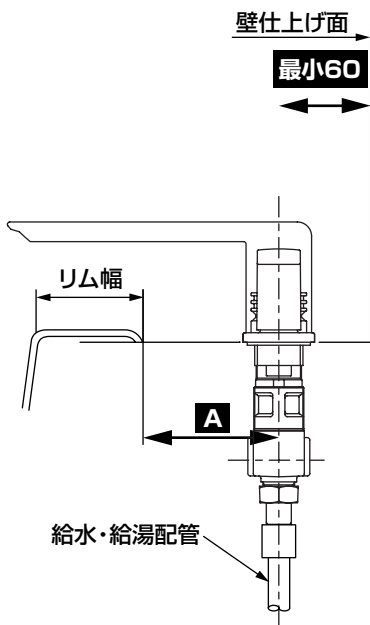
2 給水・給湯配管の心出し

注意

心出しが不十分だと水栓の取付けや浴槽内への水出しができなくなりますので、下図の寸法を厳守し、施工してください。

単位：mm

浴槽リム幅	A寸法
70	50~110
55	50~125

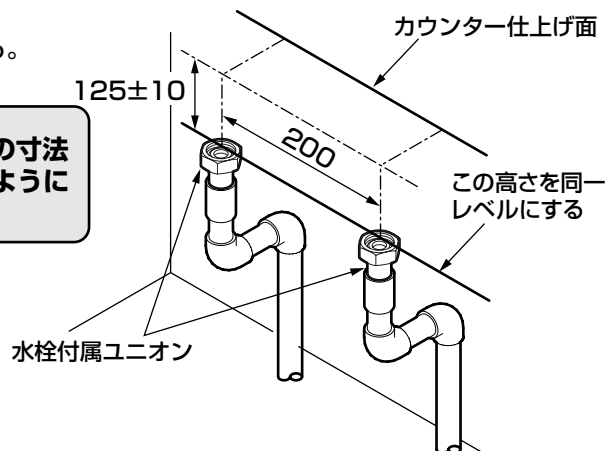


※他の浴槽の場合、A寸法は**ハンドルが当たらない**ことを考慮して設定してください。
また、**リム幅+A寸法が180mm以下**になるように設定してください。

水栓付属ユニオンを接続する。

注意

カウンター仕上げ面までの寸法が125±10mmになるように施工してください。



3 水栓本体の取り付け

①水栓本体を取り付ける。
はさみ込み施工の場合は、水栓本体に締付ナットを取り付ける。

注意

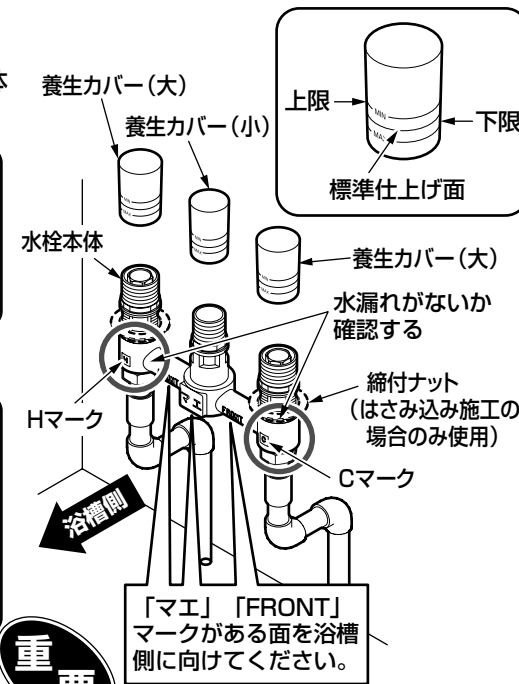
水栓本体の「マエ」「FRONT」マークがある面が浴槽側に向くように取り付けてください。逆に取り付けるとスパウトの取り付けができなくなります。

②養生カバーをかぶせる。

注意

養生カバーはタイル仕上げが終わるまでかぶせたままにしておいてください。
また養生カバーにはカウンター仕上げ面の範囲を表示してありますので、この範囲内に仕上げ面がくるか確認してください。

③埋込配管部に通水して、水栓接続部分の水漏れの有無を確認する。



重要

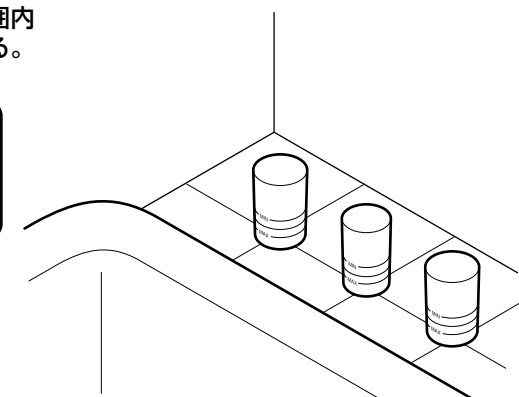
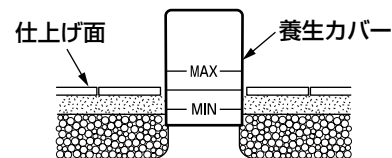
「マエ」「FRONT」マークがある面を浴槽側に向けてください。

4 タイルの仕上げ

養生カバーに表示してある仕上げ範囲内に納まるようにタイルの仕上げをする。

注意

養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。



次頁へつづく

6-3 施工手順

5 スパウトの取り付け

①養生カバーを外し、タイル目地のくぼみから水が入り込まないようにメジシールを塗布する。はみ出したメジシールはよくふき取る。

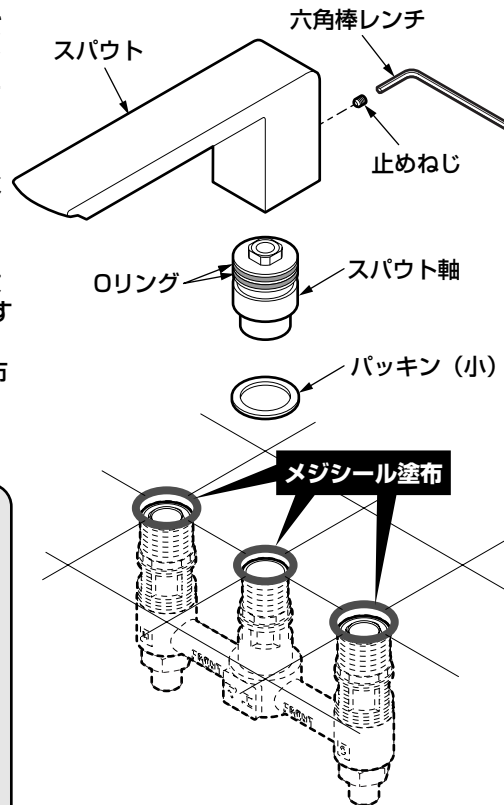
②パッキン（小）を入れスパウト軸を水栓本体にねじ込む。

③スパウトをスパウト軸に差し込み、六角棒レンチを使用して止めねじで固定する。

※接着剤がはみ出した場合は、柔らかい布でふき取ってください。

注意

- スパウト軸のリングを傷つけないように注意してください。
- スパウト軸に差し込み後は、スパウトを回さないでください。カウンター仕上げ面が傷つくおそれがあります。
- 止めねじはしっかり締め付けてください。締め付けが甘いと、スパウトが回転しやすくなります。



6 スピンドル部・ハンドルの取り付け

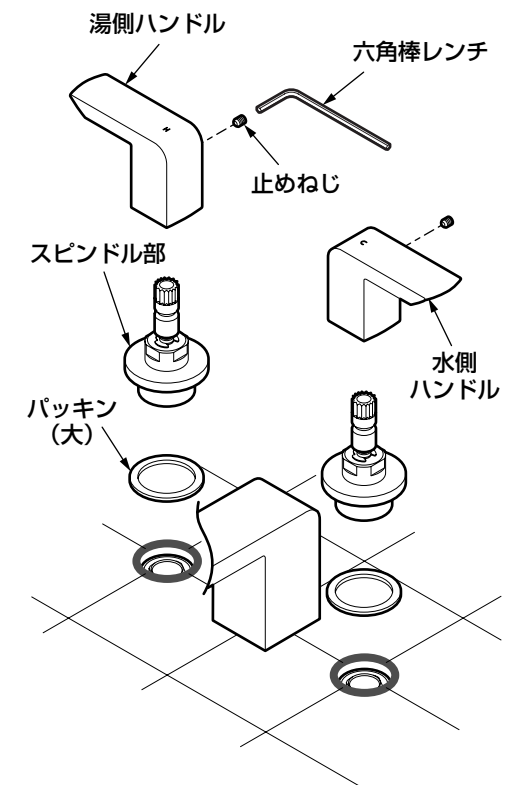
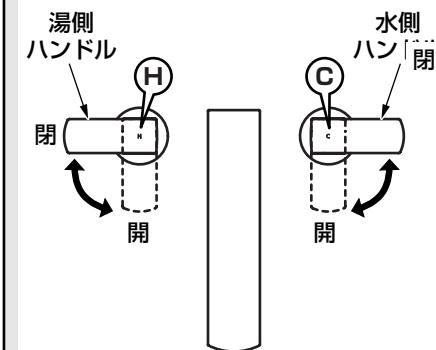
①パッキン（大）を入れスピンドル部を水栓本体にねじ込む。

②ハンドルをスピンドル部に差し込み、六角棒レンチを使用して止めねじで固定する。

※接着剤がはみ出した場合は、柔らかい布でふき取ってください。

注意

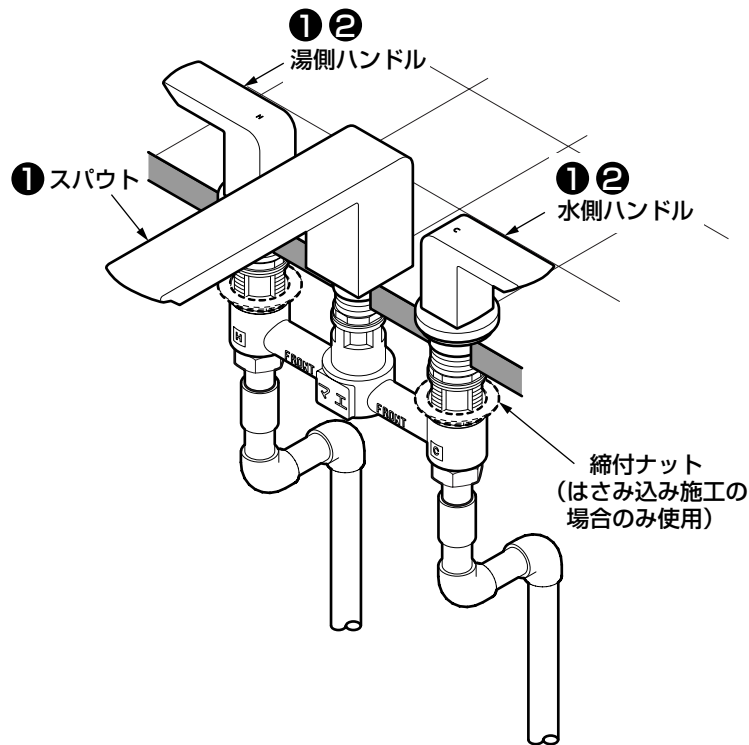
- ハンドルのH・Cが下図になるように取り付けてください。
- ハンドル操作をしたとき、ハンドルが下図の位置になるようにタイル目地を目安に取り付けてください。



7

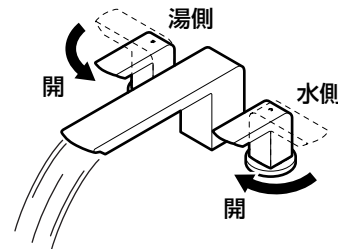
点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① ハンドル・スパウトのゆるみはないですか？

- ➡ 6-3 - 5 「スパウトの取り付け」参照
- ➡ 6-3 - 6 「スピンドル部・ハンドルの取り付け」参照

ハンドルの確認

ハンドルの向きが合っているか確認してください。

② ハンドルの向きは合っていますか？

- ➡ 6-3 - 6 「スピンドル部・ハンドルの取り付け」参照

8

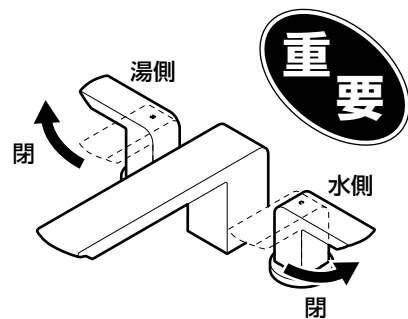
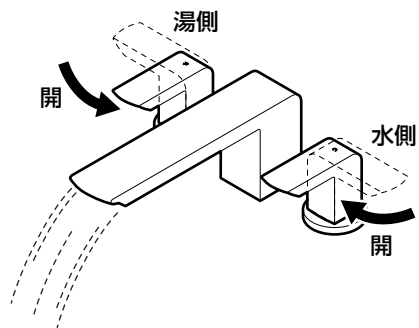
寒冷地での水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜き栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

2. 湯・水両方のハンドルを全開にして水栓内の水を抜く。

3. 水抜き完了後は、必ずハンドルを閉める。（水が出ない状態）



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡してください。